

ロタ予防接種について

病気（ロタウイルス胃腸炎）の説明

ロタウイルスは、世界のどこでもみられる、主に5歳未満の乳幼児に多くみられる急性胃腸炎の原因ウイルスです。主な症状は下痢・嘔吐・発熱などで、ときに脱水、けいれん、肝機能異常、腎不全を、稀ですが急性脳症等を合併することがあります。年齢にかかわらず何度でも感染発病しますが、乳児期での初感染が最も重症で、その後感染を繰り返すにつれて軽症化していきます。

ロタウイルスワクチン（生ワクチン）

ロタウイルスワクチンには、ヒトロタウイルスを弱毒化した1価ワクチン（ロタリックス®）とウシ-ヒトロタウイルスを再集合させた5価ワクチン（ロタテック®）があります。両ワクチンとも、ロタウイルス感染による胃腸炎を約80%予防し、重症ロタウイルス感染症の約95%を予防する効果があります。

副反応について

ロタウイルスワクチン接種後に、周期的な不機嫌、腹痛、反復性の嘔吐や激しい泣き、血便のうちのどれか1つでも認められたときは、腸重積症の可能性を考え、速やかに医師の診察を受けるようにしてください。

接種回数と時期

ワクチン名	ロタリックス®	ロタテック®
標準的な 初回接種時期	初回接種は生後2か月から出生14週6日までに接種してください。	
接種時期	出生6週0日から24週0日	出生6週0日から32週0日
接種回数	2回接種 (27日以上の間隔をあける)	3回接種 (27日以上の間隔をあける)